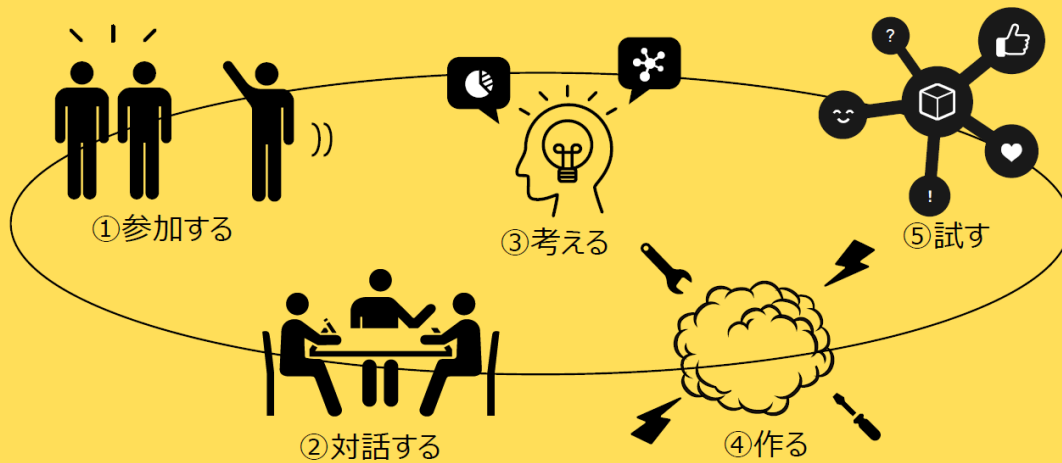


# 知ろう・語ろう

## 信州リビング・ラボ

-考えていることをカタチにしよう-



3月16日(土)

13:00~17:00

**場所** 松本33GAKU 1F コワーキングスペース  
松本市大手3-3-9

**交通** JR松本駅より徒歩約13分  
(駐車場は松本33GAKU HPをご参照下さい)

**対象** 長野県にお住まいの皆さま

参加費は無料です



リビング・ラボを体感頂くワークショップイベント

『知ろう・語ろう 信州リビング・ラボ -考えていることをカタチにしよう-』

## 【企画概要】

「リビング・ラボ」とは、エンドユーザーである市民・社会を中心に据えて、ものづくり・サービス・政策等を創り出す新しい仕組みである（Citizen Centerd Design）。日々の生活や仕事の現場（リビング）などを研究開発の場（ラボ）に見立ててデータを取ったり、一緒に分析したり、アイデア創出に継続的に関わることで新しい価値を生み出していく。セクターを超えて人々が集まりコミュニケーションができる手法として全国で注目が高まっている。

信州大学においては2016年より「信州リビング・ラボ」としてリビング・ラボ活動に取り組んでおり、「健康生活」「防災減災」を2本の柱として各種イベントを開催してきた。コロナ禍もあり一時的にイベント開催が行われていなかったが、改めて信州リビング・ラボを推進すべく、参加者の方にリビング・ラボを体感頂くイベントを開催した。

イベントは「①クロストークイベント」「②グループディスカッション」で構成をされており、①においては市民を巻き込み活動をされている美容室オレンジペコ代表井川誠様、株式会社松本山雅取締役事業推進部部長小澤修一様をお招きし、信州大学の教員と対話形式にてトークイベントを実施した。参加者は①を通じ市民を巻き込み活動する要諦を学ぶことができた。②においては顧客へ健康を届ける事業を営まれている株式会社マルエー様にファシリテーターを務めて頂き、健康をテーマとしたグループディスカッションを実施した。参加者は他の参加者とともに健康について語り合うワークを通じ、リビング・ラボ活動における「参加する」「対話する」「考える」までのプロセスを体感頂いた。

大学が行うリビング・ラボ活動として、今回参加頂いた方を中心としたコミュニティを形成し、一人一人が主体的に考えて新しい価値を生み出す取り組みを推進する。

## 【開催日時】

日時：2024年3月16日(土) 13：00～17：30

## 【場所】

松本33GAKU(長野県松本市大手3-3-9)

## 【参加者数】

参加者：19名

→20代-60代までの幅広い年代の方にご参加を頂いた

## 【関係者】

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 信州リビング・ラボ事業、美容室オレンジペコ、株式会社松本山雅、株式会社マルエー、信州大学 地域防災減災センター、松本ものづくり産業支援センター

## 【当日のスケジュール】

- ・12:45 開場
- ・13:05 プロローグ(信州リビング・ラボの概要、イベントの説明)
- ・13:20-14:00 知ろう：クロストークイベント①「市民を巻き込む活動(防災)」  
美容室オレンジペコ 代表 井川 誠 様  
信州大学 地域防災減災センター 特任助教 神田 孝文
- 14:00-14:40 知ろう：クロストークイベント②「地域と一緒に育む活動(スポーツ)」  
株式会社松本山雅 取締役事業推進部部长 小澤 修一 様  
信州大学 ユニバーシティ・エンゲージメント室 副室長/特任助教 藤尾 宗太郎
- ・15:30-16:30 語ろう：グループディスカッション「地域へ“健康”を届ける」  
株式会社マルエー 野田あゆみ 様  
信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 助教(URA) 本間 喜子

## 【会場の風景】

### クロストークイベント①



## クロストークイベント②



## グループディスカッション

